

令和2年度 アクションプランの取組状況(1学期の結果)

アクションプラン1 相手を思いやる行動(言動を含む)をする子供80%とする。

本校の子供たちは、互いをよく知り、個性を受け止め合いながら共に成長しています。上級生が下級生にやさしく接している姿も多くみられます。今年度も、本校のよさを生かし、温かい人間関係を基盤として、どの子供も学級や学校に居場所を感じ、安心して学ぶことができるようにしていきたいと思っています。そのために、各学級や学校全体で、心が温かくなるような言葉がけや行動をしている友達を認め合う活動をしています。また、教職員が率先して子供の言動のよさを見付け、紹介するようにしています。

<1学期の結果>

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	平均
82%	71%	64%	82%	80%	94%	78%

78%で達成できませんでした。感染症予防のため、異学年が交流する場を縮小しており、互いのよさを認め合う活動が十分に行えずにいます。今後は、物理的な距離を保ちながらも、心の交流ができるよう工夫し、学年を超えて互いのよさを見つけ合う機会をつくっていききたいと思いをします。

アクションプラン2 めあてをもって運動に取り組み、「みんなでチャレンジ3015」2回目「美女平」まで達成する子供の割合を80%以上とする。

子供たちが自分で運動を選び、目当てをもって楽しく運動することを目指しています。そのために、子供が自主的に運動に取り組む場を設けたり、委員会活動で手軽にできる運動を紹介し、運動に興味をもって取り組むことができるように工夫しています。

<1学期の結果> 一週間の内、「みんなでチャレンジ3015」に取り組んだ日数

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	平均
6.3日	6.1日	6.1日	6.9日	6.2日	6.9日	6.4日

平均6.4日取り組みました。この調子で取り組み続ければ、計算上、ほぼ全員の子供が、3月までに目標である2回目の「美女平」まで達成することができるペースです。

アクションプラン3 1週間のうち5日以上、理由をもってプラス1(自習学習)に取り組む子供の割合を85%以上とする。

自主学習を通して「主体的に学習に取り組む態度」を育成したいと考えています。そのために「なぜその学習をしようと思ったのか」理由をもって取り組むことを大切にしています。「プラス1コーナー」を設け、よい取組をコピーしてよさを広めたり、授業中で学んだことにつながる自主学習例を紹介したりしています。

<1学期の結果>

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校
5日以上取り組んだ子供	100%	69%	63%	86%	89%	100%	83%
5日以上理由を書いた子供	83%	30%	63%	73%	84%	75%	68%

1週間の内5日以上自主学習に取り組んだ子供の割合は83%、理由を書くことは68%で達成できませんでした。今後、理由をもってプラス1に取り組むことが、自分に必要なことを考えて実行する力を付けることにつながることを子供たちに伝え、必要性を感じさせていきたいと思いをします。また、担任が個別に助言したり、取り組みを認めて意欲を向上させたりするなど支援を充実させていきたいです。

